

施策：	15	地域福祉の推進	財務コード	01030101-03-127
基本事業：	03	地域福祉を支え、推進する人や組織づくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	福祉委員の数 地域での福祉活動に参加している市民の割合 福祉ボランティア数 コミュニティ単位で組織された民生委員協議会の数		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市保護司会			保護司は、保護司法・更生保護法に基づき法務省から委託されており、筑紫保護区保護司会筑紫野支部が下記の活動を行っており、その運営を支援する。 【保護司会の主な活動内容】 ・保護観察になった人への助言や指導 ・刑務所や少年院などに入っている人の出所後の生活環境などの調整 ・「社会を明るくする運動」及びその推進大会の実施など地域での犯罪予防の啓発活動 「社会を明るくする運動」推進大会では、市内中学生に司会進行等の手伝いをしてもらい、講演等の啓発を行っている。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）						
罪を犯した者の保護監督と犯罪のない社会を構築するため、保護司会の活動を支援する。									
成果指標名称	単位	03年度実績	04年度実績	05年度当初	06年度要求	07年度計画	08年度計画	目標	
保護司会会員数	人	16	20	20	22			22	
大会参加者数	人	0	300	300	300			300	
5. コスト									
事業費	計	千円	160	250	250	250			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他一般	千円	0	0	0	0			
正職員人工数	人工	0.15	0.09	0.11	0.11				
正職員人件費	千円	1,188	696	860					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	1,348	946	1,110	250				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	保護司の人数は、定年などもあり平成30年から微減していたが、保護司の皆さんの声かけにより令和4年度は20人に増加している。 社会を明るくする運動推進大会は、生涯学習センターさんあいホールで開催する関係で最大300人の参加となっている。保護司の皆さんが呼びかけを行い、300人が来場している。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
法務大臣から委嘱された保護司は、罪を犯した人の更生と社会復帰を助け、犯罪のない明るい社会づくりが主に担っている。平成25年度から生涯学習課が補助していた活動助成金9万円を統合している。									
備考・特記事項 or 進行管理欄									